

Library Navigator

立命館大学 図書館だより

ライブラリーナビゲーター

Vol. 123

April 2019



図書館イメージキャラクター:よむりす

FEATURE 01

学生ライブラリースタッフが訊く!

「偶然の一冊との出会い」で、
自分の人生を豊かにしよう



FEATURE 02

ワンランク上の大学生活のための
図書館のGoodな使い方教えます

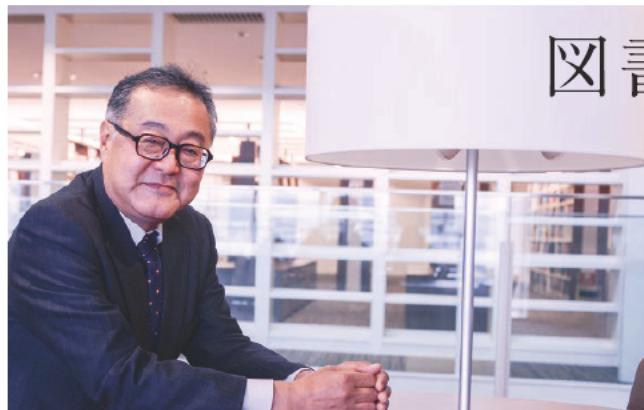
GOOD PRACTICE
for Using the LIBRARY

[新連載] 図書館の使い方がうまいヒト

R
RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

「偶然の一冊との出会い」で、自分の人生を豊かにしよう

図書館長からのメッセージ



図書館で学問を体験しよう

立命館大学図書館長
政策科学部教授

重森 臣広

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

大学図書館は研究・教育活動、学生のみなさんの学習活動の拠点です。立命館大学は、1900年の京都法政学校開学以来の長い歴史をもっていますが、ここに所蔵されている書籍、資料には、その長い歴史が投影されています。この120年のあいだに、日本社会は目まぐるしく変動してきました。人びとの関心や価値観も大きく変容しました。それに応じて、研究や学習の関心も変化してきました。立命館大学も研究と教育の分野を大きく広げ、新しい学術分野の開拓に取り組んできました。図書館に所蔵されている書籍や資料には、京都・滋賀・大阪の4つのキャンパスに16学部22研究科をもつにいたった立命館大学の軌跡が投影されているといってよいでしょう。

図書館はみなさんが書籍や資料を閲覧したり、借り出したりする施設ですが、立命館の歴史を感じとることができる貴重な場所でもあります。機会があれば、膨大な書籍や資料を前に、先輩たちが築きあげた立命館の歴史を感じてみてください。

今、本や読書にまつわる環境が大きく変化しつつあります。電子書籍の利用が増え、資料やデータは、かつてのように印刷された本や白書類からではなく、オンラインで取得することが多くなりました。学術論文が掲載されたジャーナルもオンライン化、ペーパーレ

ス化が急速に進んでいます。研究や学習に使う本や論文等の流通、取得、利用のあり方が大きく変化しつつあるということです。

しかし、形態は大きく変わっているとはいえ、本との向き合い方には変わらない大事な面もあります。私たちは何のために他者が書いた本や論文を読むのか。「書物を読んで考えるのは、食事をして消化しないのと同じだ」と述べたのは、18世紀イギリスの政治家で歴史家でもあったエドモンド・バークです。私たちは書物から新しい知識を学びます。そうした知識をよく咀嚼して、自分自身の発想に栄養を与え豊かにすること、ひいては自分自身が新しい知の生産者となること、それが読書の最終目標です。

かつて図書館は利用者が一人で本やその著者と向き合う場であり、静謐な空間でした。閲覧室は今でも同じですが、各キャンパスの図書館には昔はなかったユニークな空間がおかれていました。ラーニング・コモンズです。これは複数の学生たちが「協創」を通じて新しい知の生産活動を行う拠点です。長い歴史を通じて築き上げられた知の蓄積に触れながら、若いみなさんのしなやかな知性が、「協創」による知的交流を通じて、のびやかに成長することを、立命館大学図書館は願ってやみません。

自分を豊かにする本と出会いおう

白井：先生が国際関係学部で「図書館に行って貸し出し冊数上限まで本を借り続けてください」と新入生にメッセージを送ったと聞きました。森岡先生が学生に図書館で本をどんどん借りるように勧めているのはなぜですか？

森岡：インターネット上で簡単に本を読めるようになった今でも、図書館はとても面白いところです。ある本を探しに図書館に行き、書架の前に立つと、いろいろな本が目に入り、目的の1冊とは別の本を手にとることがあります。また、特に探している本がなく、書架から書架へぶらぶらと歩いていて、ふと興味をひかれる本が見つかることもあります。本との出会いは、人との出会いと似ています。人との出会いでは、偶然出会った人が、その後の自分にとって大きな存在になることが少なくありません。本との出会いも同じです。図書館は、「本との出会いの場」、特に、偶然の出会いの可能性を高める場といえます。1冊の本との予期せぬ出会いを、ぜひ大切にして下さい。目の前の課題に直接つながらない場合でも、自分の世界を広げ、想像力や感情を豊かにしてくれる本との出会いは、長い人生のどこかで必ず意味をもつはずです。

出会った本と、とことん格闘する

片桐：本を読むことは「著者と会話していることなのだ」という人がいますが、森岡先生はどう思いますか？

森岡：出会いに続くのは対話です。ただし、人との対話と違って、本との対話では、読み手が理解する努力をしないと、本の方からは、書いてあること以上はけっして語ってくれません。ですから、本との対話のス

タートは、「著者は何が言いたいのか」を理解しようとする姿勢をもつことです。最近の本は読みやすさが重視されるようになっていますが、古典や名著と呼ばれる本の中には、とっつきにくく、一読しただけではほとんどわからないものもあります。とはいっても、難しい本を読むときには、前から順番に理解する必要はありません。まず一箇所でも二箇所でも、理解でき自分の言葉に置き換える箇所を見つけて下さい。そうすれば、そこを手がかりに、対話を始めしていくことができるでしょう。今すぐ役立

ではないでしょうか。けれども、させられる読書は、知識の習得という点では有益であっても、意欲や熱意の点では限界があります。他人の勧めや示唆はあったにせよ、最終的に自分が読みたいと思って選んだ本だからこそ、じっくりと向き合うことができるのです。

読書習慣がなければ、借りるだけでよい

白井：読書習慣のない人は、自らどうやって「本をみつける」のでしょうか？

森岡：傍らに本がいつもある状態にしておくことです。自分のすぐ手の届くところにいつも本があるというのは、「出会いのチャンス」が常にあります。本学の学生は、一度に20冊まで借りることができます。毎回20冊を借りて返して、借りて返してを繰り返して下さい（ただし期限は必ず守りましょう）。今は本が好きでなくても、とりあえず図書館に通い、本を借り続けるのです。

白井：借りた本を全部読まなくていいのかなと思います。借りて一度も開かないまま返却しても、それはしょうがないですね。

森岡：その通りです。借りたからには全て読まなければならない、と考える必要はありません。今回は縁がなかった、そのまま返却すればよいだけです。今開く気が起きなかった本と、十数年後に思いがけない形で再会することがあるかもしれません。傍らに本がある限り、いつでも新たな出会いの機会があります。できれば、在学中に「自分の一冊」に巡り合ってほしい。そのため、図書館に通い続けることを心からお勧めします。

語り手

森岡 真史 先生

立命館大学教学部長・国際関係学部教授

学生
ライブラリー
スタッフが
訊く！

インタビュー：白井あかり（総合心理学部4回生・学生ライブラリースタッフ）、片桐将吾（政策科学部3回生・学生ライブラリースタッフ）

PROFILE

1994年政策科学部開学と同時に着任。政策科学部教授。公共政策の歴史的展開及び政策形成の規範的次元に関する研究・教育に従事。専門は近代イギリス政治思想史。



ライブラリースタッフ
東森 史奈さん
(産業社会学部3回生)
が教える!

大学図書館って
どんな資料があるの?

大学図書館には、大学での学習や研究に必要な図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、マイクロ資料といった様々な種類の資料があり、それぞれの特性を理解して利用することが大切です。また電子資料やデータベースも豊富にありますよ。

KEYWORD 資料の種類、電子資料、データベース



図書館のホームページに
マイページ機能があるってホント?

■ 本です! 図書館のホームページには“My Library”という、あなただけの図書館情報・検索ツールを管理できる機能があります。資料の返却日や貸出履歴、予約や他キャンパスからの取寄せ状況などはここをチェックしましょう。

KEYWORD MyLibrary

図書館の資料はどうやって検索するの?

■ 立命館大学図書館の蔵書検索システム“RUNNERS OPAC”に、キーワードや資料タイトルを入力して検索しましょう。“配架場所”と“請求記号”を確認すれば、その資料が図書館のどこにあるかがわかりますよ。

KEYWORD 資料の探し方、RUNNERS OPAC、請求記号



図書館資料の貸出について知りたい!

■ 学部生は20冊14日間、大学院生は100冊100日間借りることができます。図書館内にある自動貸出返却機を利用して手続きしましょう。館内利用しかできない本もあるので注意!

KEYWORD 資料の貸出方法、貸出期間、貸出冊数



図書館は1人で静かに学習する場所だから、友達と一緒にディスカッションしながらのグループ学習には違う場所を探さなきゃ!

知っておきたい
図書館の
間違った使い方

**BAD
PRACTICE**
for Using the LIBRARY

勉強に集中したらお腹が空いた!
図書館でコンビニで買った
サンドイッチと紙パックの
ジュース飲もう!

■ STOP! 大変申し訳ありませんが、図書館内で食事はできません。また飲み物はドリンクポリシーというルールに基づき、フタ付の容器に入った飲み物(ペットボトル、水筒等)のみ持込可能です。

KEYWORD 食事禁止、ドリンクポリシー

今日が借りた本の返却日。
でも忙しくて読みきれなかった。
家からキャンパスまでも遠いし、
明日まで延長しちゃおう。

■ STOP! 借りた資料は返却期限までに必ず返却してください。また資料によっては、MyLibraryから返却期限を2回まで延長*することができます。必要に応じて手続きをしてください。
*一部延長できない資料もあります

KEYWORD MyLibrary、返却期限、延長手続き

ワンランク上の大学生活のための……図書館のGoodな使い方教えます

GOOD PRACTICE for Using the LIBRARY



ライブラリースタッフ
牧野 晃大さん
(情報理工学研究科2回生)
が教える!

データベースって何?
どんなことができるの?

■ データベースとは、信頼性の高い情報が一定の形式によって収集・整理されたもので、過去から最新のデータまで、必要な情報を効率的に検索することができます。図書館が提供するデータベースは辞書事典や新聞、論文、各種統計など多岐に渡ります。

KEYWORD データベース



レポートのために図書を1冊読んだけれど、もう少し内容を深めてみたい。
類似資料や関連資料を探すにはどうしたらいい?

■ まずはその1冊が並べられていた書架に行ってみましょう。図書には請求記号という、本の内容によってテーマ毎に分類された番号が付与されており、その本の周辺には必然的に類似・関連資料が並んでいます。またRUNNERS OPACの仮想書架機能や類似資料機能も便利です。

KEYWORD 請求記号、RUNNERS OPAC



授業で課題が出たけれど、関連する資料の調べ方がわからない!
どんなキーワードや切り口で資料を探せばいいのかな…

■ 図書館には皆さんの資料探しをサポートするレファレンスカウンターがあります。レファレンスライブラリアンと呼ばれる専門の職員が、資料の場所や学習・研究テーマの参考になる情報の探し方、データベースの検索方法など、困ったことに親身に相談に乗ってくれますよ!

KEYWORD レファレンスサービス



利用したいと思っていた資料が立命館大学の図書館になかった! どうしよう

■ そんな時もレファレンスカウンターへGO!手続きによって他大学等の資料の借用・複写・閲覧などができる場合もあります。また、図書館のデータベースで閲覧できる場合もあるので、あきらめずに相談しましょう。

*実費負担です

KEYWORD レファレンスサービス、他大学等の資料利用



そんな時は、図書館内にあるラーニング・コモンズびあら*へGO! ここでは声を出して仲間とグループ学習をしても大丈夫。ディスカッションをしたり、プレゼンテーションの練習をしたりといった、大学生ならではのアクティブな学習ができます。

KEYWORD びあら

*びあらは平井嘉一郎記念図書館、メディアセンター、メディアライブラリー、OICライブラリーにあります

インターネットを検索していたら、
レポートのテーマに合いそうな記事を見つけた!
まとめサイトもあって助かる~!
この情報を使ってレポートを書こう。

■ STOP! インターネット上にある情報は、客觀性に欠けたり信頼性が不明確なものが多くあります。レポートや論文作成の際には信憑性の高い情報を利用することが重要です。図書館の資料やデータベースはその基準をクリアしていますので、ぜひ活用してください。

KEYWORD 信頼性の高い情報を使う

レポート作成にあたって読んだ論文がすごく参考になった。
この筆者の考えと自分の考えは一緒だし、書かれている内容をそのまま拝借・コピペしよう。

■ STOP! 他の書いた文章や実験結果などを、さも自分の成果のように利用することは、「剽窃」という重大な不正行為です。レポートや論文作成の際には、他者の文献等を参考にしつつ、皆さん自身の考え方や評価を述べることが求められます。また参考にする際には「引用」という形式で出典を明らかにしましょう。

KEYWORD 剽窃、引用

南川文里

国際関係学部 教授 | Fuminori Minamikawa

「知的好奇心」をエンジンに、学びと研究の糸口を手繕り寄せよう

授業でレポートを提出するよう言われて参考文献探しなさいといわれたけど。どうやっていいかわからないからすぐGoogleに頼ってしまう…こういう経験をしたことがある学部生、実は結構いるのではないかでしょうか？今回はあなた自身の学び（論文、レポート）の質を高める鍵となる、「図書館の使い方」を徹底調査します！



研究の原動力は、なんといっても「知的好奇心」

授業で聞いたこと、教えてもらったこと、ニュースで話題になったこと、何でもよくよく考えてみると「わかっているようでわかつてない」ことだらけです。私の研究の原動力は「わからないこと」に対する「知的好奇心」です。

テーマは「アメリカの人種エスニシティ」「移民問題」

専門は、国際社会学です。日系アメリカ人の歴史や経験をテーマに25年ほど続けて研究して、最近は多文化主義という政策や思想もテーマにしています。こうした学問は、人と深くかかわる研究なので、一度始めるといい意味でやめることができないんです。自分の研究が、ついにこの世界で生きている誰かの生き方に影響してしまうから。ただ自分の「知りたい」欲求を満たすだけでなく、研究の成果が少しでも誰かが生きやすい環境を作るのに役立つ。それが魅力です。

！ココがポイント

研究ではいつも図書館にお世話になってきました。たとえば、20世紀初めのアメリカを研究しようとすると、新しい本や雑誌はネットで購入したりできるけど、過去を知るための資料は基本的に図書館にあります。日系アメリカ人の研究をしていると、外交史料館や国会図書館にお世話になることもあります。このテーマの研究の資料が国内で一番充実しているのは立命館大学です。だから、海外からも研究者がやってきて、修学館の奥でマイクロフィルム資料を読んでいたりします。一つの図書館でこれだけの資料をそろえている場所はそうはありません。



ゼミ生に伝えている大切なこと

私のゼミでは、基本的に本をテキストにして一緒に読んでいます。本を読む作業は、手にとって字を追って読めばそれでいいというわけではありません。学問では、その本がどのような学問上の流れや社会の変化のなかで書かれてきたのか、どのような問題に向かってきたのか、なぜ著者がこの本を書いたのかということを、みんなで議論して学問のなかのコンテクストを理解するようにします。そのうえで、いまの国際社会を生きる自分はその問題をどう考えるかについて、またみんなで議論しています。



南川先生の「図書館の使い方」を教えてください

自分のPCのブラウザのトップページを図書館ページにしているので、すべての作業がRUNNERSの検索でスタートします。授業や研究で必要な論文をRUNNERSからリンクしている電子ジャーナルからダウンロードできるのはありがたいです。平井嘉一郎記念図書館では、ILL(Inter-library loan)をよく使います。ILLは他の大学の図書館にある本や資料を借りることができるサービスで、これも図書館で予約すれば数日で届けてくれます。あとはほとんどが修学館リサーチライブラリー。ここは院生や教員向けの研究書が充実していて、絶版の古い研究書などはたいていここで借りて読んでいます。それから、研究で使う歴史的な資料、たとえばアメリカの政府関係の文書や海外で発行されていた日本語新聞などは、修学館でマイクロフィルムで読んでいます。



よい論文、レポートを書くためのアドバイス

図書館を活用しましょう。まず論文やレポートのテーマについて書かれた論文や本を図書館やデータベースで探します。Googleよりも先にRUNNERSで探しましょう。ただ、せっかくいい文献を見つけても、それを盗用や剽窃をしてしまった意味がありません。ちょっとした「楽をしたい」という気持ちで、ネットや文献の情報を「コピペ」してしまうケースはなかなかなりません。私たちの研究は人に関わる研究だから、盗用や剽窃で得られた研究成果は、自分の研究に関わる人みんなを傷つける行為です。教員も学部生も院生もみな大学という学問のコミュニティのメンバーです。だからレポートや論文での盗用や剽窃などの研究不正は、その人だけの問題ではなく、コミュニティ全体の信用を損なう行為です。



じゃあどうしたらいいか？

「コピペ」したレポートを読むと、読んだ本や論文をちゃんと理解できないから、剽窃してしまうのかなと感じます。いい文献が見つかったら、それを自分のレポートで使うためには「バラフレーズ」しなくてはいけません。つまり、そこで書かれていることを、自分の言葉で説明すること。ここでつまづいてしまう人は、今まで小学校や中学高校でやってきた国語の「要約しなさい」という問題を思い出してほしい。結局、よい論文を書くには、引用元や参考にする文献、他人が書いた文を「自分の言葉で置き換える」力が必要です。その力を、大学の演習授業などで鍛えてほしいと思います。

① 先生の一日のタイムスケジュール	
AM 6:00	起床、朝食・家事
7:00	
8:00	出勤
9:00	
10:00	授業
11:00	
PM 0:00	学部での会議・打ち合わせ・昼食
1:00	授業
2:00	
3:00	学内業務・授業準備や論文執筆に関する情報収集など (図書館HPから電子ジャーナルにアクセスします)
4:00	
5:00	
6:00	
7:00	帰宅
8:00	夕食・家事・余暇・研究活動など
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	就寝

！ここがポイント

図書館では、レポート執筆に役立つ講座を実施しています。レポートが不得意、引用元を探せない、うまく書けない人はぜひこういった企画を活用しましょう。



最後に。

学問の成果が蓄積された大学図書館を活用すれば、みなさんが必要としている知識に早く確実にアクセスできます。もっともっと図書館を使って、学問の深さに触れてほしいと思います。

！ここがポイント

データベースの使い方、本の探し方のガイダンスは定期的に各キャンパス図書館で行っています。よりよい学修のためにうまく活用してくださいね。

南川文里（国際関係学部 教授）
研究テーマ：アメリカ型多文化主義の生成と展開をめぐる歴史社会学的研究、現代アメリカにおける移民政策と排外主義、日本人の国際移動をめぐる比較社会学的研究など
専門分野：社会学、アメリカ研究

これからを生き抜くために大学時代にすべきこと

許 光俊
ボブ社(2010年)

高校生のときより自立性が求められる大学生になって、何をすればいいかわからない。勉強やバイト、サークルなどでの人間関係、恋愛や将来への悩み。あなたの漠然とした不安や悩みの支えになってくれるかもしれない1冊です。

植田 祥徳 さん
法学部3回生
図書館を快適に使ってもらう助けになることを目標に、日々の配架業務などを行っています。

凍りのくじら
辻村 深月
講談社(2008年)

主人公は、一人でいるとどこか息苦しい、居場所がないと感じている女の子です。そんな彼女に写真のモデルになってほしいと頼む人物を筆頭にさまざまな人と出会い、少しずつ変わっていきます。結末にはすごく驚かされます。

佐々木 優衣 さん
文学部3回生
誘致企画プロジェクトで、図書館に来ない人を誘致する企画や映画上映会を行っており、参加してくれるとやりがいを感じます。

一路
浅田 次郎
中央公論新社(2015年)

何も知らぬまま参勤行列を取り仕切ることになった主人公が、「己の能力を見限った者から脱落する」と自分を鼓舞して懸命に努力し、たくさんの人に支えられ成長する姿は、これから大学で頑張っていく皆さんにも重なることでしょう。

栗原 朱美 さん
産業社会学部3回生
本を早く正確に配架することで、快適に利用できる図書館にするように心がけています。

学び続ける理由
99の金言と考えるベンガク論。

戸田 智弘
ディスカヴァー・トゥエンティワン(2014年)

この本は色々な著名人の言葉を引用して、学び続ける理由を解明していく本です。この本から学んだことは人生の99%は学びであることと、学ぶからこそ人生は成り立っていて、人生をよくするために学ぶ必要があることです。

IQBAL Adhiqa Rafifanda さん
国際関係学部3回生
私は誘致企画プロジェクトで映画上映会のポスターをデザインしています。

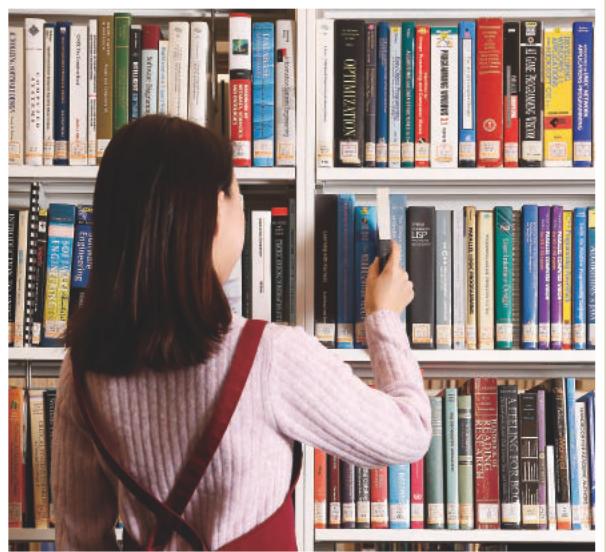
三匹のおっさん
有川 浩
文藝春秋(2012年)

定年退職しアミューズメントパークへ再就職した清田清一ことキヨ、柔道家の立花重雄ことシゲ、工場経営者・有村則夫ことノリの3人が様々な方法で悪を成敗していく様子が描かれており、思わず笑える、元気がもらえる1冊です。

岡川 瑞咲 さん
経済学部3回生
図書紹介プロジェクトの活動を通じ、より多くの人に図書館の本を知ってもらえるよう頑張っています。是非読んでみてください。

**学生ライブラリースタッフから
新入生へ贈る一冊**

図書館で活躍する学部の学生ライブラリースタッフ(LS)に、新しく大学生活をはじめる新入生に薦める一冊を紹介してもらいました。



学び続ける力
池上 彰
講談社(2013年)

大学は自分の好きな専門分野を学べる場所です。しかし、生きるには教養が必要です。必要ないと思われる教養もいつかは役に立つものです。本書は教養を学ぶこと、学ぶことの楽しさを教えてくれます。

岸井 優磨 さん
理工学部3回生
私は、図書紹介プロジェクトに所属し、利用者が読んでみたいと興味をひくことができるポスター作りに力を注いでいます。

老後の資金がありません
垣谷 美雨
中央公論新社(2018年)

まだ老後の話なんて早いかな?と思いつつ読み始めると、主人公に降りかかるリアルな問題にハラハラが止まらず、一気に読みきました。親への感謝、人生への期待と不安など様々な感情が交差する1冊です。興味のある方はぜひ!

津村 至美 さん
生命科学部4回生
新人LSさん達の研修に力を入れています! LSを次に繋いでいくお仕事に関わって、とてもやりがいを感じています。

**私はやる
自分の中のありあまる富を見見する方法**
B・スイートランド
桑名一央 訳
創元社(2018年)

期待が膨らむ入学直後、目標を思い描くだけで満足している人も多いのです。この本は、目標を達成するまでのプロセスを支援し、成功に導いてくれます。やる気に満ち溢れている今こそ、それを原動力として“行動”に移しませんか?

中村 彩乃 さん
総合心理学部4回生
図書館デザインプロジェクトで、本の返却に関する掲示を作りました。図書館利用方法の理解を促せるよう頑張ります。

パーマネント神喜劇
万城目 学
新潮社(2017年)

ノルマや昇進問題を抱えたどこか人間らしい縁結びの神様のお話です。「苦しい時の神頼み」の裏側ではきっとこんな会話が繰り広げられているのかも…? クスッと笑いたい人におすすめの1冊です。

鈴木 貴子 さん
経営学部4回生
OICライブラリーは地域の方との距離が近いので、学生に限らず利用される全ての方が過ごしやすい環境作りに励んでいます。

本物の思考力
出口 治明
小学館(2017年)

激変してゆく社会を生きる上で大切な技法を単刀直入に解説しています。また、考えるために重要なことや、考えることから展開される論理・見解を、事例を用いて提示します。これからの社会を生きるために、おすすめします。

片桐 将吾 さん
政策科学部3回生
小さな楽しみの場所、そんな図書館になればと業務に取り組んでいます。図書館を知りたいときはお気軽にお声がけください。

学生ライブラリースタッフ活動紹介

学生ライブラリースタッフ(以下、LS)とは、図書館をより快適に、多くの人に利用して頂くために、何が出来るのかを学生同士で考え、行動していく学生サポートです。利用された図書資料などを本棚に戻す「配架業務」や、資料を正しい位置に整理する「書架整理業務」などの図書館における基本業務から、図書館で実施する講演会やクイズラリーなどのイベントの企画・運営まで、活躍は多岐にわたります。

LIBRARY STAFF AT 衣笠

衣笠では映画上映会や、びあら講演会、クイズラリーなど、利用者が楽しめる企画を実施しています。LSとして、利用者と図書館スタッフ両者の視点から、図書館の新しい魅力を発掘し、お届けします。



LIBRARY STAFF AT BK

BKCでは日々利用者に快適に過ごしていただけるように活動しています。これまで配架や図書紹介、ブックカバー作成などの業務に取り組んできました。これからは企画など新たなことにも挑戦していきます。



LIBRARY STAFF AT OIC

OICでは、ガーデンライブラリーを開放し、青空の下で読書を楽しむ企画「青空読書」や、びあらで初釜体験企画を開催したり、多くの学生が参加してくれました。これからもOICライブラリーの魅力を発信していきます。



LS採用

私たちと一緒に、図書館で楽しく働きましょう！

定期的に、LSを募集しています。私たちと一緒に図書館づくりにぜひ参加してください。募集時期など詳細については図書館HP、館内掲示、manaba + Rなどで告知します。
www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/staff/library_staff.html

LS
のページは
こちら

展示空間

ふとした瞬間の
気づきや発見！

各キャンパスの図書館では、それぞれの蔵書の特徴や本学の歴史や現状等を踏まえたテーマ（下表）を取り上げ、それらの魅力をさまざまな企画展示でも、利用者にお伝えしています。

新入生 歓迎企画

① ②

学内外との連携を通して、
それぞれの機関が有する
研究成果の社会還元や
社会問題に関する取り組みへの
啓蒙を目的とした
テーマ設定をしたもの

③ ⑥ ⑦ ⑧ ⑩

各館の蔵書の
特徴などを踏まえ
テーマ設定したもの

④ ⑤

コレクションなど
日常的には手に触れにくい
資料の紹介を主軸としたもの

⑨

利用者の皆さんにとって意外な気づきや発見につながるような場となるよう、今後もいろいろな展示企画を実施する予定です。是非、そうした場の一つとして各キャンパスの図書館の展示コーナーにもお立ち寄りください。

2018年度の主な図書館展示

① OICライブラリー新入生歓迎展示 「立命館のあゆみ展」

展示期間 2018年4月2日(月)～5月7日(月)
展示会場 OICライブラリー

② 立命館にみる文学の世界 ～本学校友の作品展示を通して～

展示期間 [平井嘉一郎記念図書館] 2018年4月25日(水)～5月27日(日)
[OICライブラリー] 2018年6月5日(火)～7月1日(日)

③ 世界子ども救援キャンペーン報道写真展 「輝き探す闇～東南アジアの零細金探掘」

展示期間 2018年5月11日(金)～5月31日(木)
展示会場 OICライブラリー
主催 毎日新聞社・公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団
協力 立命館大学図書館、文学部

④ 平成を振り返る30冊

展示期間 第1期：2018年6月1日(金)～9月28日(金)
第2期：2018年10月1日(月)～12月26日(水)
第3期：2019年1月7日(月)～4月30日(火)
展示会場 BKCメディアライブラリー

⑤ よむりすの木

展示期間 2018年7月13日(金)～2019年9月30日(金)
展示会場 BKCメディアライブラリー

⑥ 君たちはこれからどう生きるか： 丸山眞男と加藤周一から学ぶ

展示期間 [平井嘉一郎記念図書館]
Ⅰ期：2018年7月17日(火)～7月29日(日)
Ⅲ期：2018年9月26日(水)～11月22日(木)
[OICライブラリー]
Ⅱ期：2018年8月2日(木)～9月20日(木)
[BKC・アクロススティング1Fエンタランスホール]
Ⅳ期：2018年11月28日(水)～12月20日(木)
主催 立命館大学加藤周一現代思想研究センター、
東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センター
立命館大学図書館・東京女子大学図書館
丸山彰氏(丸山眞男氏ご長男)、
Julie Brock氏(京都工芸繊維大学基盤科学系教授)
協力

⑦ 安藤百福展～アジア発展の奇跡を支えた インスタントラーメンを発明した大器晩成の人

展示期間 2018年11月15日(月)～12月20日(木)
展示会場 OICライブラリー

⑧ 世界子ども救援キャンペーン報道写真展 「暴虐の傷痕～イラクIS後」

展示期間 2018年11月27日(水)～12月20日(木)
展示会場 平井嘉一郎記念図書館
主催 每日新聞・公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団
協力 立命館大学図書館、文学部

⑨ 見る・知る・学ぶ貴重書の世界 ～本学特別コレクションより～

展示期間 2018年11月5日(月)～12月20日(木)
展示会場 平井嘉一郎記念図書館

⑩ 2017年度ノーベル平和賞受賞記念 ミュージアム・この1てん「弁当箱」

展示期間 2019年1月12日(土)～3月18日(月)
展示会場 OICライブラリー
主催 立命館大学国際平和ミュージアム
協力 立命館大学図書館



「安藤百福展」の開催風景



Q

手軽に本を探すには
何が便利？

A

RUNNERS OPACを活用すれば、どの館のどの場所に図書が配架されているか、またそれが現在貸し出し中かどうかもすぐに知ることができます。また、RUNNERS DISCOVERYを活用すれば、図書・雑誌のほかにも電子資料など様々な媒体の学術情報を検索することができます。

Q

自宅からでもデータベースは
活用できる？

A

VPN接続をすれば自宅でも移動中でもどこからでも図書館のデータベースにアクセスし、電子資料などを閲覧することができます。

Q

資料の予約や取り寄せは
どこからできる？

A

MyLibraryを使えば、図書の予約・他館からの取り寄せ、そのほかにも学外からの資料取り寄せなど、情報資源をまとめて管理することができます。

Q

セミナールームや
プレゼンテーションルームは
どうすれば使えるの？

A

図書館ホームページの施設予約システムをご利用ください。
学内のネットワークもしくはVPN接続をすれば予約が可能です。
[立命館大学施設予約システム]
www.ritsumei.ac.jp/library/service/libraryriyou/webbooking.html/



Q

図書館の開館時間は
どこで知ることができるの？

A

図書館の開館日程・時間については図書館ホームページをご確認ください。
[立命館大学図書館ホームページ]
www.ritsumei.ac.jp/library/



衣笠キャンパス



平井嘉一郎記念図書館

人文科学・社会科学分野の資料を中心に所蔵
閲覧面積: 14,585m² 閲覧席数: 2,000席



修学館リサーチ
ライブラリー

社会科学分野・外国语
関係の研究資料を中心
に所蔵

閲覧面積: 2,271m²
閲覧席数: 34席



人文系文献資料室

人文科学分野の研究資
料を中心に所蔵
閲覧面積: 842m²
閲覧席数: 53席

びわこ・くさつキャンパス



メディアセンター

自然科学分野の資料を中心に所蔵
閲覧面積: 5,922m² 閲覧席数: 878席

大阪いばらきキャンパス



OICライブラリー

社会科学・人文科学分野の資料を中心に所蔵
閲覧面積: 8,477m² 閲覧席数: 1,110席

朱雀キャンパス



朱雀リサーチライブラリー

法学・行政学分野・教育分野の研究資料を中心
に所蔵
閲覧面積: 1,361m² 閲覧席数: 309席



立命館大学図書館 公式Twitter運用開始します！

アカデミックサポートに関する役立ち情報やイベント情報などを発信しています。
ぜひフォローしてください。

twitter.com/RitsumeiUnivLib



R RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

www.ritsumei.ac.jp/library/

立命館大学図書館だより Library Navigator Vol. 123 2019年4月
発行:立命館大学図書館

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL:075-465-8217 FAX:075-465-8219

Library Navigatorは最新号・バックナンバーともに図書館ホームページでもご覧いただけます。

立命館 図書館だより

検索